

## (3) 生活文化の保全対策に係る検討

〔生活文化の保全対策に係る取り組みイメージの例〕

## ◆実施時期と実施方法の想定

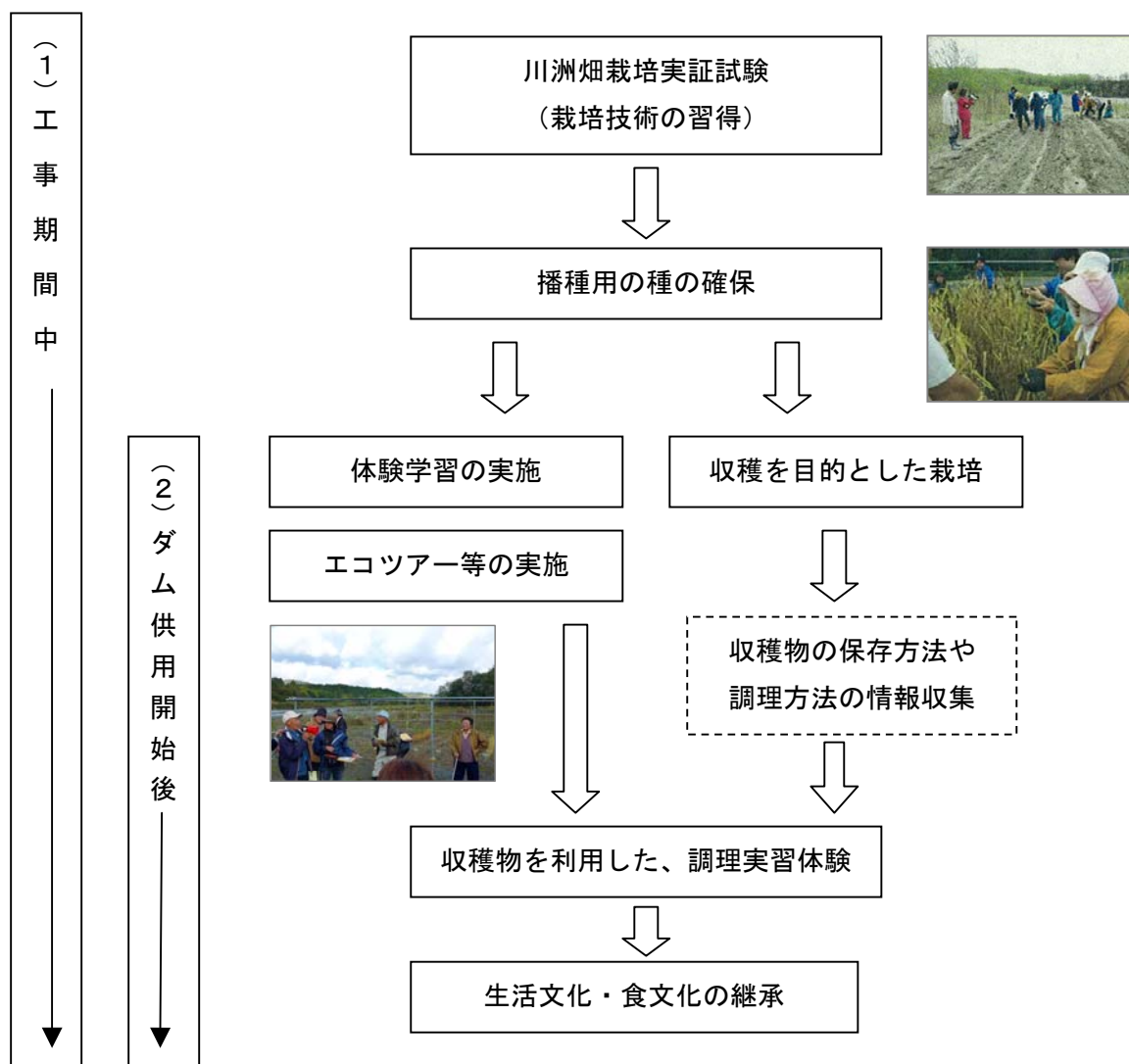
○工事期間中(1)に保全対策が段階的に進展していくものと、工事期間中の準備的期間を経て、ダム供用開始後(2)に継続的に取り組みが行われていくものが考えられる。

○工事期間中は、ダム事業者による調査活動を基本に、川洲畑の栽培方法についてのノウハウを蓄積して体験学習等のプログラムを作成し、学校等と共同的な取り組みを行う。

○工事期間中ならびにダム供用開始後は、体験学習等を目的とした取り組みと併せて、一定量の収穫を目的とした栽培管理についての試験的な取り組みを行い、アイヌ文化の担い手の参画を得て、生活文化の継承を図る。

【時期の想定】

【保全対策としての取り組みの一例】



(出典：上記2点の写真は、第8回検討会資料-2より引用)